太陽光パネル・部屋のレイアウト・日の出撮影のための東西方位の調べ方

屋根、窓、庭がどの方向を向いているかを正確に知ることで、太陽光パネルの発電効率、室内の採光計画、そして日の出写真の仕上がりが大きく変わります。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: September 3, 2026 • 旅行

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/east-west-orientation-solar-panels-sunrise



磁気北と真北の違い

スマートフォンのコンパスは磁気北を指します。しかし真の地理的北（真北）とは、場所によって10°～20°以上ずれることがあります。このズレを磁気偏角と呼び、太陽光パネルの設置や日の出撮影の際には無視できない誤差です。

北半球では、真南（180°）に向いたパネルが年間発電量を最大化します。15°のずれだけで、発電量は目に見えて低下します。

太陽光パネルと室内採光

NorthPin（iOS・Android対応）を使って屋根を歩き回る前に、真北モードを有効にしてください。アプリが自動的に地域の磁気偏角を補正します。方位ピン機能で180°をロックすれば、手ぶれなく屋根のどのセクションが理想的な向きかをその場で確認できます。

室内では、東向きの窓は朝の涼しい自然光をもたらし、西向きの窓は午後の黄金色の日差しを受けます。賃貸・購入前に部屋の正確な向きを把握しておくと、採光・温熱環境の判断に役立ちます。

日の出撮影と庭づくり

日の出を撮影するには、目的の日の太陽方位角を調べ、そのベアリングをNorthPinの方位ピンでロック

します。真北モードが常に有効なので、ロックしたベアリングは地理的に正確です。

庭づくりでは、トマトやピーマンは6時間以上の直射日光が必要です。コンパスで各花壇の向きを確認すれば、どこに何を植えるべきかが一目でわかります。

アンテナ設置と物件確認

北半球では衛星アンテナはほぼ南を向きます。真南の方位を知っていれば、設置前に障害物を取り除けます。物件購入・賃貸前のNorthPinによる方位確認は、エネルギーコストと生活の質を判断するための実用的なデータになります。無料・広告なし・オフライン動作対応です。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). 太陽光パネル・部屋のレイアウト・日の出撮影のための東西方位の調べ方. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o.. https://appstoryo.com/ja/blog/east-west-orientation-solar-panels-sunrise
© 2026 lapnito.cz s.r.o.